

照明技術賞

最優秀照明賞	劇映画部門	権(東映作品)	担当	増田悦章
最優秀照明賞	C・F部門	スズキ・カーナ(異星人篇)(太陽企画作品)	担当	石井大和
最優秀照明賞	産業記録映画部門	生命の水(電通映画作品)	担当	宇関一男
特別賞	劇映画部門	乱(ヘラルド・エース グリニッチ・フィルム 作品)	担当	佐野武治
特別賞	劇映画部門	それから(東映作品)	担当	矢部一男
特別賞	テレビドラマ部門	天璋院篤姫(全国朝日放送作品)	担当	栗原進
特別賞	C・F部門	セイコー1秒の言葉(日本天然色映画作品)	担当	小林紀佳

第9回協会賞	永年勤続(40年)	吉田一夫	渡辺長治	田口耕司	藤野慎一	高鳴利雄	故・秋池深仁
第9回協会賞	映像照明10年間の編集により						小山 勲
第9回協会賞	「男はつらいよ」33作品の担当により						青木好文
第9回協会賞	8mm映画製作で協会の声価を高める						渡辺 生

最優秀照明賞	劇映画部門	権	最優秀照明賞	産業記録映画部門	生命の水
--------	-------	---	--------	----------	------



増田悦章
昭和6年9月15日生

昭和26年東映の前身、東横映画入社。昭和34年血太郎ひとり雲で初担当。時代劇、任侠映画を数多く担当。主な作品 ザ・ヤクザ、冬の華、日本のドン、鬼龍院花子の生涯(当協会最優秀賞受賞)、陽暉楼、序の舞、花いちもんめ、火宅の人。最近作 道。

選定理由: 時代的な表現、人物、背景共に完成度の高さが認められその作品の意図も十分に汲み取ったライティングは、少なからず作品の主張をも伝え、映画の総合芸術である証となっているものと思われます。光に振り廻されることなく光を掌中にした作品を作りあげた功績を認め、昭和60年度劇映画部門最優秀照明賞を贈ります。

最優秀照明賞	C・F部門	スズキ・カーナ(異星人篇)
--------	-------	---------------



石井大和
昭和22年4月3日生

昭和46年駒沢大学卒業。昭和48年日本天然色映画(株)と照明技師として契約。昭和54年3月退社して事務所NEWSを結成。照明技師として現在に至る。主な作品 サントリー

ホワイト(S.49)、資生堂祭化粧(S.54)、キンチョール、カメラアダダイヤモンド(以上S.57)、トヨタセリカMR-II(S.59)、宝酒造「純」(S.60)

選定理由: 強力なライトによる映像づくりは異星人の世界をよく表現しており、スズキ・カーナの商品イメージをも一段と高めた功績を認め、昭和60年度C・F部門最優秀照明賞を贈ります。



宇関一男
昭和21年1月22日生

昭和44年3月 日大芸術学部写真科卒業。同年4月電通映画社入社。昭和49年照明技師となり、現在に至る。主な作品 東京電力ばくの絵、ネットスゴールドブrend後藤純男編(以上ACC賞受賞)、ニッカウイス

キー浪漫の灯はいまも(電通賞受賞)
選定理由: 具体的な光を感じさせない影の処理と色の無い光を、まわりの色彩で美しく描き上げた力量には非凡なものが感じられ、作品全体を常に掌握しきった精神力も見事だと思います。欠点の無さは必ず新しいものを生み出す前提となるものと認め、昭和60年度産業記録映画部門最優秀照明賞を贈ります。

特別賞	劇映画部門	乱
-----	-------	---



佐野武治
昭和5年5月11日生

昭和22年松竹京都撮影所入社。昭和32年照明技師となる。昭和40年同撮影所閉鎖によりフリーとなる。主な作品 古都、沈黙、はなれ瞽女おりん、曽根崎心中、影武者(当協会最優秀照明賞)、瀬戸内少年野球団

(日本アカデミー最優秀照明賞、日本映画テレビ技術協会映画技術賞)、鍵の権三。光と生きる(当協会特別賞)などC・Fでも活躍中。

選定理由: 戦乱の世の人間悲劇を迫力ある臨場感、細部に及ぶ配慮ある照明で、絢爛と描き上げたことは作品に雄大な風格を与え、物語に大きく貢献しているものと認め、昭和60年度劇映画部門特別賞を贈ります。